

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2020. 3. 12 NO. 270

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



予算特別委員会で集中質疑

新型コロナウイルス対策の抜本的強化を

3月6日の予算特別委員会で、新型コロナウイルス対策の抜本的強化を求めて、党区議団・山田耕平幹事長が集中質疑を行いました。

マスク不足は深刻 区備蓄品の提供を要請

区内の医療機関、民間保育施設、高齢者施設等から、マスクや消毒液が不足し、備蓄が底を尽きかけているとの切実な声が多数寄せられています。区が備蓄している約77万枚のマスク等を提供するように求めました。

区長は、区内のマスク不足の実態を認め「区が備蓄しているマスクの配布をどうやるか。(庁内に)



質疑する山田耕平議員

に)積算を命じている」と答弁。都に対しては、マスク提供等の要望を出していると示しました。党区議団としても、原田都議を通じて、都へのマスク提供を求めています。

情報提供体制の強化を

新型コロナウイルスに関する状況は日々変化しており、相談窓口の周知や感染拡大防止に関わる情報は、インターネット以外に、紙媒体の配布や掲示等の様々な手法を活用し、速やかに進めるよう求めました。区は「今後、チラシ等を作成し、庁内施設等での配布を検討している。委員のご指摘も踏まえ、検討したい」と答弁しました。

杉並区内の新型コロナウイルス発生状況

3月10日現在、杉並区では5名の新型コロナウイルス感染が報告されています。(内3名はニュース268号で報告)

■立正佼成病院の女性看護師に陽性反応

2月29日、立正佼成病院が女性看護師に陽性反応が判明したと発表。女性看護師は80代・70代の陽性反応患者の接触者として健康観察を行っていたが、24日夜から発熱があり、新型コロナウイルス感染症の検査を実施。29日に陽性反応が確認された。女性看護師は区外医療機関で加療中。

■同じ病室に入院していた男性に陽性反応

3月1日、立正佼成病院で新型コロナウイルス感染症患者と個室管理以前に同じ病室に入院していた男性1名に陽性反応が判明。現在、区外の医療機関で加療中。

各学校の判断の尊重を

臨時休校により、学校現場にも重大な影響が生じています。学年末の授業、行事は子どもにとっ
てかけがえのないものです。春休みまでの休校を
既定のものにせず、状況を科学的に、適切に判断
し、学校再開を検討するとともに、子ども・保護
者・教職員の納得のいく形で学校運営を実施でき
るよう、各校の判断を尊重すべきと求めました。
教育委員会は「今後状況の変化に応じて変更す
る」と答弁しました。

引き続き、さらなる対策の拡充を求めます。
(※質問と答弁の詳細は、日本共産党杉並区議
団ホームページをご覧ください。)

日本共産党杉並地区委員会新型コロナウイルス対策本部・都議会議員原田あきら事務所は、新型コロナウイルス感染症についてのアンケートを実施しています。折り込みアンケートにご協力ください。東京都議団ホームページでも回答できます。

区議会第1回定例会 予算特別委員会 都補助金活用し、高齢者施策の拡充を

3月5日の区議会予算特別委員会で、私は、都の補助金を活用した高齢者福祉の拡充を求めました。

シルバーカー、補聴器にも助成を

東京都の高齢社会対策包括補助金は、地域の実情に応じ、幅広く活用できる補助金です。

福祉用具給付もこの補助金が活用できることから、昨年の予算特別委員会に続き、他自治体で導入されているシルバーカーや補聴器の購入助成・支給を、杉並区でも実施するよう求めました。

区は、「高齢者実態調査の結果を現在集計中。調査の中で要望の高かったものや、ケアマネ等の意見を集約し、来年度中に見直しを行う」と答弁しました。



さらに、高齢者の閉じこもり予防や低栄養の改善として、集会施設等を利用して食事を提供する会食サービスの取組を紹介し、杉並区でも検討を求めました。

他自治体の助成実施状況

- シルバーカー 9区11市
- 補聴器 9区（来年度からさらに2区が実施）
- 会食サービス 6区9市

被爆地広島へ「中学生派遣事業」が実現

杉並区は、来年度「広島平和学習中学生派遣事業」の実施を表明しました。

事業内容は、8月3日～6日に広島市で開催される平和首長会議総会に合わせ、区長とともに区内の中学生を派遣し、広島平和記念式典に出席するほか、被爆の実相に触れるなど、平和について学習するというものです。

日本共産党区議団は、昨年10月の決算特別委員会で、「他自治体では被爆地に区民や子どもたちを派遣している。杉並では修学旅行も広島・

長崎には行かない。戦争の恐ろしさと平和の尊さを継承するために、派遣事業の検討を強く求めると提案していました。

被爆者団体のみなさんの長年の願いであり、党区議団の論戦が計画に反映されたことは重要な成果です。

今年だけではなく、毎年取り組むよう、今後も求めていきます。



★新型コロナウイルスの対策のため、区議会予算特別委員会も通常とは異なり、委員は入れ替わり制、理事者も限定しての委員会となっています。3・11の式典が中止となったことから11日も委員会が行われ、また最終日の本会議採決を予算特別委員会の意見開陳後に行うことになったため、第1回定例会は、2日前倒しで16日に閉会となります。

★東日本大震災から9年。住まいを失い、いまなお避難生活を続けている人は約4万8千人。とりわけ原発事故が発生した故郷・福島の様子は深刻で、県外への避難者は3万人以上です。東電と国は、避難指示介助などを理由に、賠償を打ち切るなど支援を縮小させてきました。福島の切り捨てを許さず、災害から国民の命とくらしを守る政治を実現するために、これからも力を尽くしていく決意です。